

	タイトル	内容	担当	系	日時
5月	既存非木造建築物の耐震診断	建築基準法の改正に伴い、既存建築物の耐震性を評価することが必要となる。鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造に対する耐震診断法と耐震改修法の概要を述べ、意見交換する。	高島	構造	5月12日(木) 16:00-17:30
6月	浅野川洪水	近年局地的豪雨が多発しており、その降雨・洪水流出特性を平成20年7月の浅野川洪水を例にして話題提供し、その後意見交換を行う。	岸井	土木	6月2日(木) 16:00-17:30
7月	自然エネルギー活用建築	低炭素建築が求められる時代を迎えた。建築・住宅における自然エネルギー活用として、太陽光・風力・屋上緑化・地下水利用などを取り上げ、当研究所で取り組んでいる研究内容を紹介する。	垂水	環境	7月7日(木) 16:00-17:30
8月	既存木造建築物の耐震診断	木造建物の耐震補強は、非震時の被災程度を軽減するために重要であるが、木造建物は千差万別であり、簡易な方法では限界がある。ここでは、より有効な耐震診断法と耐震補強について解説する。	後藤	構造	8月4日(木) 16:00-17:30
9月	土砂災害	土砂災害に関する崩壊事例とその対応について紹介する。特に、崩壊実績から、今後、同種の自然災害で危険視される場所や地域の特定化について提案したい。	川村	土木	9月1日(木) 16:00-17:30
10月	自然共生的な街づくりと材料	自然ポテンシャルを活かした快適で環境負荷の小さい街づくりと材料開発について意見交換を行う。キーワードは「斜面緑地の冷気流」「用水の気温低減効果」「コケ緑化」「保水性舗装と白華」。	円井	環境	10月6日(木) 16:00-17:30
11月	伝統的木造建築物の耐震設計	仕様規定に基づく壁量計算や許容応力度計算とは異なり、性能規定による伝統的木造建築物の耐震設計として、限界耐力計算の解説を行う。	西村	構造	11月10日 (木) 16:00-17:30
12月	地域防災力の向上の取り組み	地域自治体のリスクコントロールにおいて重要となる住民の防災にかかわる知識・意識を調査し、地域防災力を向上させるためのリスクコミュニケーション手法について概説する。	木村	土木	12月1日(木) 13:30-17:30
1月	地域景観資源の評価と保全	景観は地域住民のアイデンティティを育む力がある。歴史、文化、快適性といった点から景観について考え、当研究所で進めているサウンドスケープの研究と合わせて意見交換を進めたい。	土田	環境	1月12日(木) 16:00-17:30
2月	事業継続の必要性和マネジメント	近年の自然災害やテロなどを背景として、官民が中心となりその計画立案とマネジメントを実施しようとしている事業継続について、その必要性和マネジメント方法について概説する。	山岸	構造	2月2日(木) 16:00-17:30
3月	降雨から洪水へのメカニズム	水文学の入門から気象と降水、さらに、最近の新しい知見を説明する。	水村	土木	3月1日(木) 16:00-17:30

3月	鉄筋コンクリート構造物の耐久性向上	鉄筋コンクリート構造物は、市民生活や経済活動を営むために欠かせない。これらを、100年間以上に使用するための、新設構造物に対する長寿命化、および既設構造物に対する延命化の技術に対して、紹介する。	宮里	土 木	3月29日(木) 15:00-17:00
----	-------------------	---	----	--------	-------------------------